

(様式1)

## 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立米子工業高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成重点校	提出日	令和4年12月22日
------	-----------------	-----	------------

1 学校目標
1 ものづくり人財としての自律した態度と技術の育成 2 ふるさとキャリア教育による在り方と生きがいの創造 3 持続可能な地域社会への協働参画 4 地域ネットワークとの連携 5 向上心とワークライフバランスの実践
2 重点項目に係る目標
1 米工の伝統を受け継ぐものづくり人材の育成 (1) クリーンエネルギーでSDGsにチャレンジする。 (2) 高校生ものづくりコンテスト中国大会で上位入賞し、全国大会出場を目指す。 (3) 新時代に対応するロボット等の製作に取り組む。 (4) 難易度の高い資格も含め、国家資格や検定試験で多くの合格者を出す。 (5) 将来の技能五輪活躍を見据えた技術指導をする。 (6) 産業界をリードする社会人としての規範意識を高める。
2 開かれた学校づくりの推進 (1) 小中学生が米工で実験・実習を体験する機会を作り、理解を図る。 (2) 小中学生を対象とした米工の出前授業を実施する。 (3) 生徒の地域に貢献しようとする意識を芽生えさせて育む。
<数値目標>
1 ジュニアマイスター取得者は卒業生の30%以上を目指す。 令和3年度ジュニアマイスター取得者 ゴールド 13名 (特別表彰2名含む)、シルバー 18名、ブロンズ35名 計66名 (令和3年度卒業生 191名 ジュニアマイスター取得者 34.6%)
2 第2種電気工事士卒業時取得者70%以上を目指す。 令和3年度電気科・環境エネルギー科合わせた第2種電気工事士取得者 78.9%

### 3 事業計画（事業名、事業概要）

#### 【高等学校課事業】

#### 1 外部人材活用事業（社会人講師活用事業）

##### （1）電気工事の実技指導について

環境エネルギー科において、外部から指導者を招き、少人数のグループに対し指導者1名での技術指導を受けることで、生徒の技術向上に繋げる。

#### 【独自事業】

#### 1 持続可能な地域社会への協働参画事業

##### （1）チャレンジSDGs

クリーンエネルギー事業に携わる技術者を講師として招き、社会におけるクリーンエネルギーの役割と自分たちにできることは何かを考え、SDGsの7番目の目標「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」を実践する。

#### 2 ものづくり人財としての自律した態度と技術の育成事業

##### （1）高校生ものづくりコンテスト活動支援

将来の地域産業を担う人材育成に向け、各部門でコンテストの上位入賞を果たすために、年間を通じて技術・技能の向上をしっかりとサポートする。

##### （2）技能オリンピック出場を目指す人財づくり

ものづくりの優秀な担い手を育成するため、最先端を走る企業で研修し、高レベルの技術・技能を習得する。

##### （3）資格取得に対する支援

機械加工技能士（普通旋盤作業）と電気工事士の資格取得（電気科・情報電子科・環境エネルギー科）に対する支援

##### （4）各種大会・課題研究への支援

ものづくりの対外的な大会への参加や加工技術向上につながる活動をしっかりとサポートし、生徒の学習意欲や技術の向上を図る。

##### ①WROレゴロボットの製作

レゴロボットを製作し、全国大会への出場を目指す。

##### ②1人乗りライントレースカーの製作

マイコンカーで学習した技術を活用して、実際に人が乗れる自動走行の車を製作する。

##### ③マイコンカーの製作

マイコンカーを製作し、マイコンカーラリー全国大会への出場を目指す。

##### ④空気圧エンジンの製作

熱力学や流体力学の学習を通し、環境に配慮した空気圧エンジンの製作に取り組む。

##### ⑤アイデアロボットの製作

与えられた課題をクリアするためのロボット製作を行い、全国高等学校ロボット競技大会へ参加する。

(様式1)

⑥電気自動車（電動カート）の製作

4年間の計画でガソリン車に変わる人が乗ることができる電気自動車を製作する。令和4年度は3年目。

⑦ソーラーラジコンカーの製作

太陽光を利用したソーラーラジコンカーを製作し、全国ソーラーラジコンカーコンテストへ出場し、最新技術の習得を図る。

3 地域ネットワークとの連携事業

(1) 中学生体験学習

実習等の体験をとおして工業各科の教育内容への理解を深め、進路選択の一助とする。

(2) 出前授業

小中学校で出前授業を行うことでものづくりの楽しさを伝えるとともに、小中学生に専門高校での学びに対する興味・関心を高めてもらう。

(3) 保育園児との交流

幼児とのふれあいから、保育の楽しさや大変さを知り、将来の進路、結婚や子育てを考える際の一助とする。

※枚数任意